

平成17年3月28日
名古屋銀行
日本政策投資銀行
商工組合中央金庫

名古屋銀行、日本政策投資銀行及び商工組合中央金庫によるシンジケートローン の組成について

1. 名古屋銀行（頭取：加藤千磨）日本政策投資銀行東海支店（支店長：小笠原 朗）及び商工組合中央金庫（理事長：江崎 格）熱田支店は、中京荷役株式会社が実施する廃プラスチックリサイクルパレット製造事業に対し、リサイクル施設建設の推進を支援するため、岡崎信用金庫、豊田信用金庫の地元金融機関の参加も得て、共同アレンジにてシンジケートローンを組成しました。
2. 中京荷役株式会社は、名古屋市内で梱包荷役事業、PETボトルリサイクル事業を営む地場企業（昭和43年設立）ですが、今般、事業多角化の一環として、廃プラスチックリサイクル事業にも進出することになり、現在長野県飯山市において工場を建設予定です。
3. 本件は、環境負荷の低減、循環型社会の構築に資する点で意義の高い同社のリサイクル事業を円滑に進めるため、工場建設に際して必要となる資金に対し、名古屋銀行をアレンジャーとし、日本政策投資銀行及び商工組合中央金庫がコアアレンジャーとなってシンジケートローンを組成し、融資を実施したものです。
4. 当シンジケートローンは民間金融機関と政府系金融機関二行(庫)での共同アレンジという点に特徴があります。名古屋銀行としては政府系金融機関との初の共同アレンジ案件となり、また日本政策投資銀行においては東海地区の地銀と共同アレンジし、設備投資資金対応のシンジケートローンを組成する初めての案件となります。
5. 名古屋銀行は、平成15年8月に策定した「リレーションシップバンキング機能強化計画」の中で、政府系金融機関との連携を計画項目に掲げております。名古屋銀行は、平成16年1月に商工組合中央金庫と、平成17年3月に日本政策投資銀行と各々業務協力協定を締結していますが、本件は日本政策投資銀行との業務協力協定に基づく第1号案件となります。
6. 本件融資を通じて、今後、廃棄物の再資源化による環境負荷の低減、循環型社会形成の推進が図られることが期待されます。名古屋銀行、日本政策投資銀行及び商工組合中央金庫は、引き続き、地域金融機関の「リレーションシップバンキング機能強化計画」にかかる協力を進める中で、このような環境対策に資するシンジケートローンの取り組みも推進していく方針です。

7. シンジケートローン 概要

・契約締結日	: 平成 17 年 3 月 22 日
・貸付実行日	: 平成 17 年 3 月 25 日
・アレンジャー	: 名古屋銀行
・コアレンジャー	: 日本政策投資銀行、商工組合中央金庫
・エージェント	: 名古屋銀行
・組成額	: 18 億円
・融資期間	: 11 年
・融資形態	: ターム・ローン（証書貸付形式）
・資金使途	: 設備資金（廃棄プラスチックリサイクル工場建設）
・参加金融機関	: 名古屋銀行、日本政策投資銀行、商工組合中央金庫 岡崎信用金庫、豊田信用金庫

8. 中京荷役 株式会社 概要

・代表者	: 鷹見 善彦
・本店所在地	: 名古屋市熱田区白鳥三丁目 6 番 22 号
・設立	: 昭和 43 年 6 月(西暦 1968 年)
・資本金	: 20 百万円
・売上高	: 31 億円(平成 16 年 7 月期実績)
・事業内容	: 梱包荷役業務、PET ボトル、廃プラスチックリサイクル 事業 他
・従業員数	: 558 名(平成 16 年 7 月期末 実績)

9. ご参考

- ・シンジケートローンとは
 - 複数の金融機関がシンジケート団(協調融資団)を組成し、一つの契約書に基づいて同一条件で融資を行う与信形態です。
 - アレンジャーが参加金融機関の募集、契約内容の取りまとめを行い、エージェント(貸付事務代理人)が融資実行後の事務管理を行います。
 - 企業にとっては、アレンジャーを窓口とすることで、大口の資金調達が可能となる等のメリットがあり、シンジケート方式による資金調達は国内でも増加傾向にあり、更なるマーケットの拡大が見込まれております。
- ・アレンジャーとは
 - 借入人から組成依頼を受け、シンジケートローンのとりまとめを行う主幹事のこと。借入人との交渉、参加金融機関の募集等を担う。
- ・エージェントとは
 - 契約締結後における契約管理、事務の取りまとめを行う金融機関のこと。各契約当事者の代理人として、資金のとりまとめや分配、報告事項の伝達等を担う。

以 上